

(議事概要)

第2回徳島県観光スポーツ文化指定管理候補者選定委員会  
〈蔵本公園・鳴門総合運動公園・中央武道館〉

日時: 令和7年10月9日(木) 9時30分～10時30分

場所: 県庁8階 804会議室

(公財)徳島県スポーツ協会 提案説明

質疑応答

(委員等)

野球場の改築があり、プロの公式戦も呼べるということですが、もし指定管理者になった場合、営業活動・誘致活動を行うのですか。

(申請者)

来ていただいて満足できるような球場の状態に整えるのは我々の任務だと思っています。グラウンド作りは、我々がしっかりと行います。

また、他の施設とお客様の兼ね合いなど、動線等の話になってくると私たちで、県側と協力して進めていくことになるかと思っています。運営などは当然一緒に行います。

(委員等)

今までしっかり管理されたというのが分かりました。これからの5年間指定管理する中で新たに組みたいとか、見に行くほか、やる方の教室とかそういうことがあったらと思います。何か取り組みを今後考えていますか。

(申請者)

次期取り組みの内容にも、イベントという項目も入りますので、今までしていた自主事業とイベントを繋ぎ、また新たな事業展開というの県と協議しながら進めていきたいと思っています。まずはスポーツを拠点とした形で取り組み、賑やかという街の賑い、人の流れを作っていけたらと思っています。

(委員等)

今実施しているスポーツ教室のチラシを見ると、お子さんや高齢者の方の教室はありますが、社会人が行ける時間帯が少ないなと思ったので、そういうのも考えていただければと思います。

(委員等)

事業計画書の自主事業収入を、5年間で伸ばしていけるような計画であれば良いと思いますが。

(申請者)

施設の利用状況を見まして、一般利用の方に邪魔にならないところで空き時間を作ってやっており、公共施設というところで、基本的には利用者さんの負担にならない価格で皆さんのスポーツの体験率を上げていくスタンスを重視しています。値上げや人数を増やすというイメージはしていません。

(申請者)

コロナ前の2019年は教室も定員がかなりいっぱい、こう多いと満足いただけないというのがありましたが、一旦コロナでリセットされました。徐々に増えて今、3万弱くらいまで増えています。これがどんどん伸びるかという、今、鳴門総合運動公園では、平日の昼間でも、ソフトバレーボールやシルバー大学校に使われたりと、色々利用があります。なかなか、そういった利用を増やしなげらとなると教室もどんどん増やしてはいけないため、その辺りは様子を見ながら考えていきたいです。

(委員等)

自己資金というのは、どのような数字ですか。

(申請者)

自己資金は今までの蓄えです。

(委員等)

職員体制ですが、皆さんすごく多種多様な能力、資格を取っておりすごいと思いました。経験年数が非常に長い職員も多く、それと定年は必ずしもイコールではないと思いますが、バツと抜けちゃう時期があるのかなと思いました。職員体制、人材育成や経験、下の方に対する引継ぎなど、そういう業務引継ぎなどはどのようにされていますか。

(申請者)

経験年数が長くなる年代の方もまだもう少し働いていただいて、これから若手を雇っていくということも考えています。毎年や、定期的に採用するのは難しいですが、野球場のタイミングで少し職員を増やし、若返りを図っていきながらというのを念頭に置きたいと思います。嘱託や再任用で今年退職した方も働いていただいており、ノウハウを繋いで事業継承をしていきたいと思っております。

(申請者)

補足として、この一覧は徳島県スポーツ協会全体の職員ではなく、管理運営をしている部門の職員の一覧となっています。現役アスリートの選手などが違うセクションのところにあります。少し年齢層が偏っているところもありますが、そういう背景もあります。